



「レーザーセンシング情報を使用した持続的なスマート精密林業技術の開発」に関する 現地検討会のお知らせ

信州大学、「レーザーセンシング情報を使用した持続的なスマート精密林業技術の開発」のコンソーシアム（代表 信州大学農学部 教授 加藤正人）は、これからの『スマート精密林業技術』の第一歩となる現地検討会を北信州森林組合管内の実証地で行います。

これは、農林水産省及び国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構の平成 29 年度「レーザーセンシング情報を使用した持続的なスマート精密林業技術の開発（革新的技術・緊急展開事業）」の研究成果を公開するものです。

本事業は、関係機関と連携を図りながら、林業の成長産業化を目指し、川上での最先端の各種レーザー計測による精密計測と IoT 機能付き高性能ハーベスタ（国内初の実証試験）による収穫作業をつなぐことで、林業界初の森林の単木在庫管理からレーザー計測による適切な樹木の選木システムを開発しています。

開発中の選木システムのナビゲーションや収穫情報のリアルタイムデータ転送を可能にするハーベスタによる作業とドローンレーザー空撮の見学を通じて、クラウドデータ処理により製材工場など川中との木材情報の見える化を含めた林業サプライチェーンに向けたシステム構築を目指す『スマート精密林業技術』の第一歩を感じていただきます。

10 月 10 日（火）、本事業の現地検討会を開催いたしますので、ご取材いただきたくご案内申し上げます。何卒宜しくお願い申し上げます。

記

- ◆開催日時：平成29年10月10日（火）午後1時～4時（受付開始 30分前）
- ◆主 催：信州大学、「レーザーセンシング情報を使用した持続的なスマート精密林業技術の開発」のコンソーシアム
- ◆集合場所：北信州森林組合
〒383-0061 長野県中野市大字壁田 938-1 TEL0269-38-0371
- ◆内容・スケジュール
午後 1 時 北信州森林組合管内の実証地（山ノ内町五輪林業団地牛首カラマツ林）へ移動
午後 2～3 時 IoT ハーベスタ（コマツ）見学
午後 3～4 時 ドローンレーザー空撮 見学

<お問い合わせ>

〒390-8621 長野県松本市 3-1-1

信州大学産学連携本部 事務局

tel : 0263-37-3530 E-mail : lsksymposium@gmail.com